

# 和歌山県の地震

## 令和8年1月

### 1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 4

### 2. 地震一口メモ

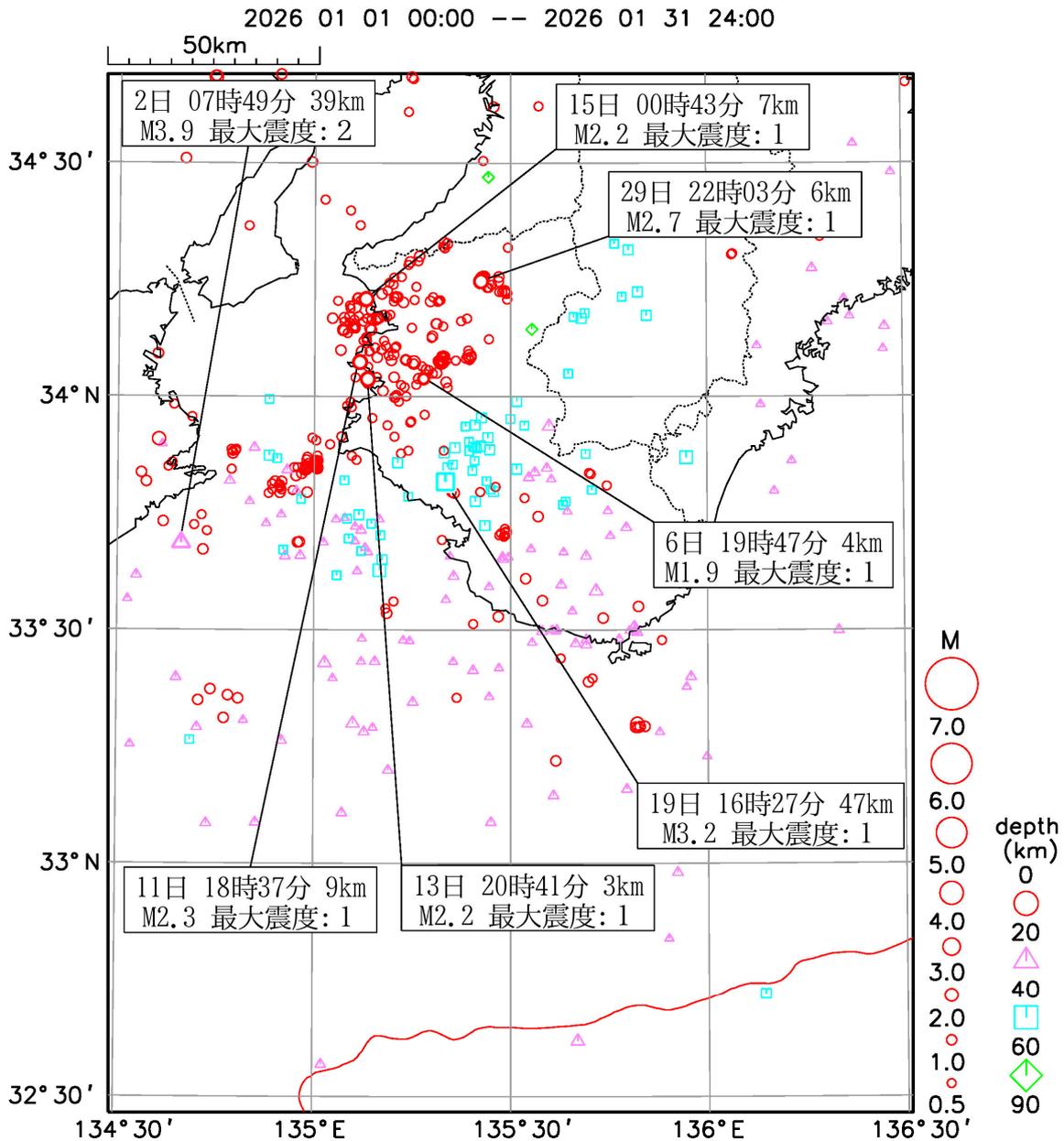
長期評価による地震発生確率値の更新について	・・・・・・・・ 7
-----------------------	------------

- \* この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- \* この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- \* 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- \* この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

## 和歌山地方気象台

# 1. 和歌山県の地震活動

## 【 震央分布図 】

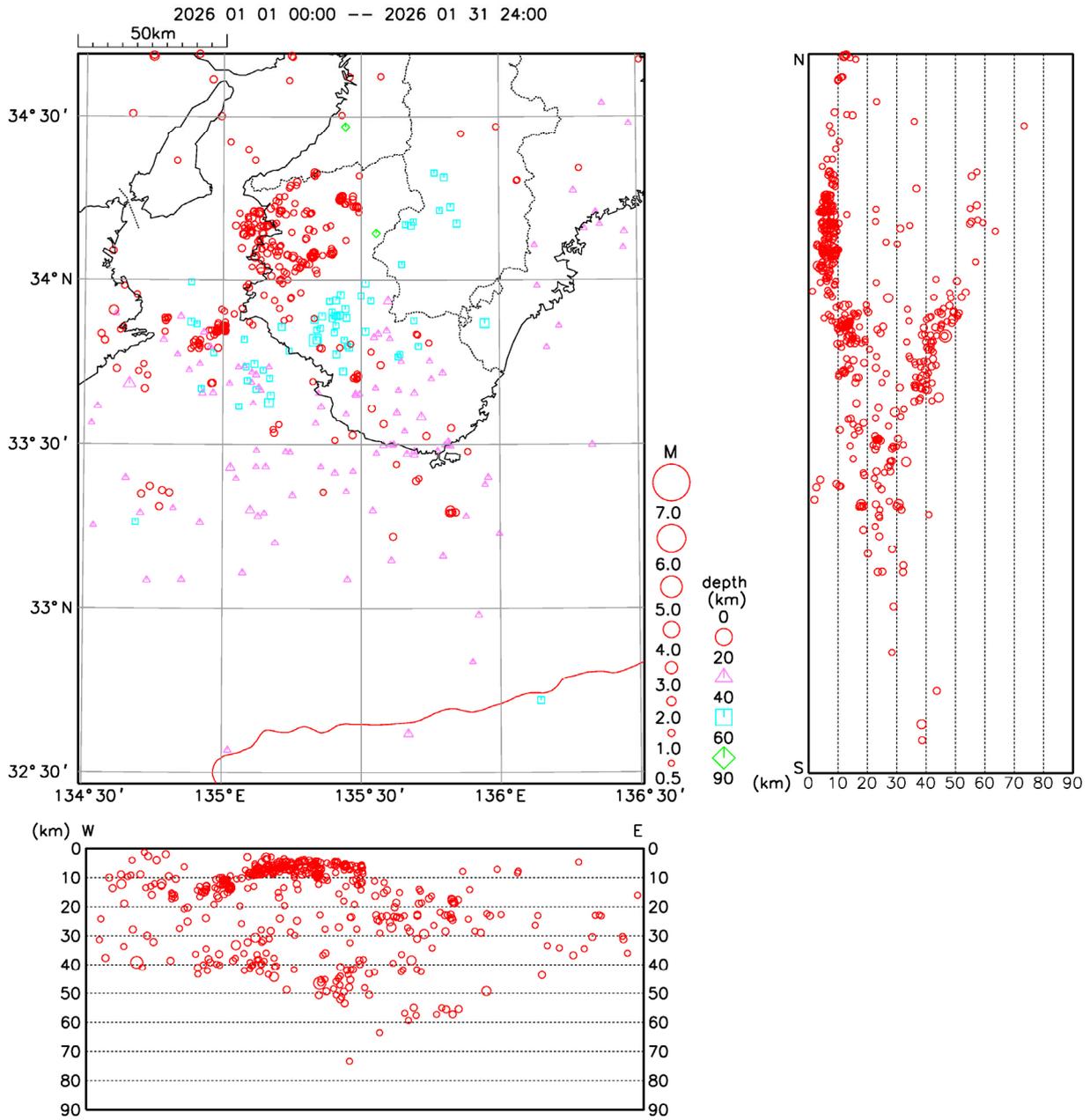


## 【 概況 】

1月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は23回（前月も23回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、2日07時49分 紀伊水道の地震（M3.9、深さ39km）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

1月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、9回（前月3回）でした。

【 断面図 】



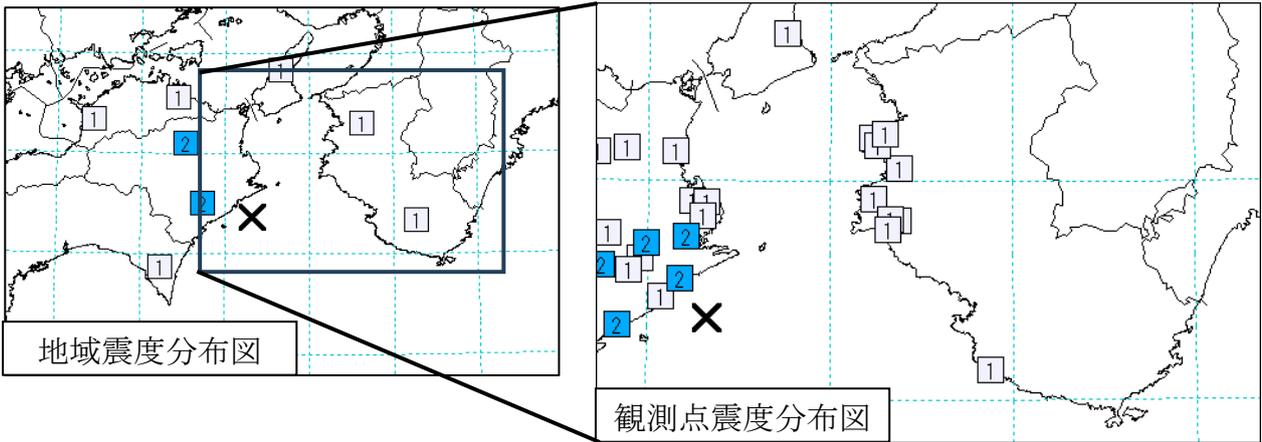
## 【和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧】

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2026年01月02日07時49分	紀伊水道	33° 41.1' N	134° 39.7' E	39km	M3.9
和歌山県 震度 1： 海南市下津＊, 有田市箕島, 有田市初島町＊, 御坊市菌, 御坊市湯川＊, 湯浅町青木＊, 由良町里＊ 日高川町土生＊, 白浜町日置＊					
*2026年01月06日10時18分	島根県東部	35° 18.9' N	133° 12.8' E	11km	M6.4
*2026年01月06日10時20分	島根県東部	35° 19.1' N	133° 13.8' E	13km	M4.5
和歌山県 震度 2： 和歌山市男野芝丁, 和歌山市一番丁＊, 有田市箕島, 和歌山美浜町和田＊, みなべ町芝＊ 紀の川市粉河, 紀の川市西大井＊, 岩出市西野＊					
震度 1： 海南市下津＊, 橋本市高野口町名倉＊, 有田市初島町＊, 御坊市菌, 御坊市湯川＊ かつらぎ町丁ノ町＊, 湯浅町青木＊, 和歌山広川町広＊, 和歌山日高町高家＊, 由良町里＊ みなべ町土井, 日高川町土生＊ 紀の川市那賀総合センター＊, 紀の川市貴志川町神戸＊, 紀の川市桃山町元＊, 有田川町下津野＊ 田辺市中辺路町近露, 田辺市鮎川＊, 田辺市東山＊, 上富田町朝来＊, 古座川町高池					
*2026年01月06日10時37分	島根県東部	35° 18.7' N	133° 10.5' E	14km	M5.5
*2026年01月06日10時39分	島根県東部	35° 18.2' N	133° 11.1' E	9km	M3.2
*2026年01月06日10時40分	島根県東部	35° 19.2' N	133° 10.1' E	15km	M3.1
*2026年01月06日10時40分	島根県東部	35° 19.0' N	133° 10.1' E	13km	M3.1
和歌山県 震度 1： 和歌山市男野芝丁, 和歌山市一番丁＊, 有田市箕島, 和歌山美浜町和田＊, みなべ町芝＊ 紀の川市西大井＊, 岩出市西野＊					
2026年01月06日19時47分	和歌山県北部	34° 02.2' N	135° 16.6' E	4km	M1.9
和歌山県 震度 1： 湯浅町青木＊					
2026年01月11日18時37分	和歌山県北部	34° 04.4' N	135° 06.9' E	9km	M2.3
和歌山県 震度 1： 湯浅町青木＊					
2026年01月13日20時41分	紀伊水道	34° 02.2' N	135° 08.1' E	3km	M2.2
和歌山県 震度 1： 湯浅町青木＊					
2026年01月15日00時43分	紀伊水道	34° 12.5' N	135° 07.8' E	7km	M2.2
和歌山県 震度 1： 和歌山市一番丁＊					
2026年01月19日16時27分	和歌山県北部	33° 49.0' N	135° 20.0' E	47km	M3.2
和歌山県 震度 1： 御坊市菌, 御坊市湯川＊, 湯浅町青木＊, みなべ町土井, みなべ町芝＊, 日高川町土生＊ 田辺市中辺路町栗栖川＊					
2026年01月29日22時03分	和歌山県北部	34° 14.8' N	135° 25.4' E	6km	M2.7
和歌山県 震度 1： かつらぎ町丁ノ町＊, 紀の川市粉河, 紀の川市那賀総合センター＊, 紀の川市西大井＊					

地点名の最後に\*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。発震時の最初に\*のついている地震は、近接した地域でほぼ同時に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示します。

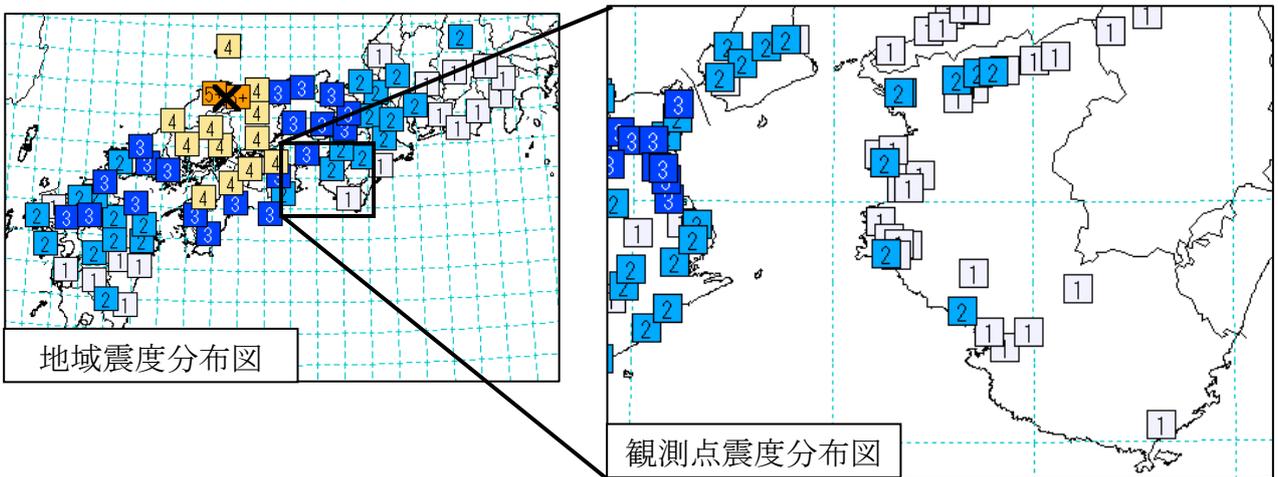
【震度分布図】

2026年01月02日07時49分 紀伊水道（深さ39km、M3.9）



\*2026年01月06日10時18分 島根県東部（深さ11km、M6.4）

\*2026年01月06日10時20分 島根県東部（深さ13km、M4.5）

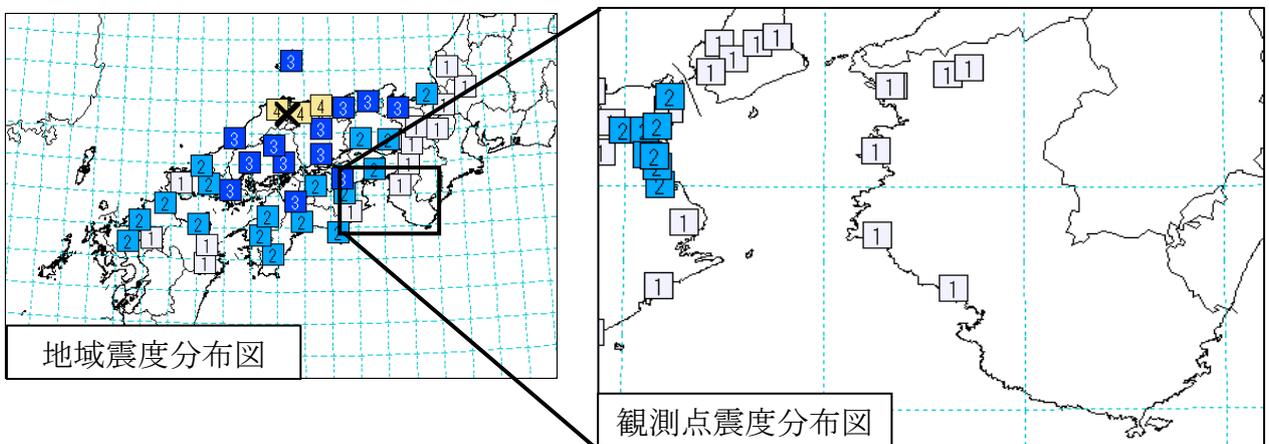


\*2026年01月06日10時37分 島根県東部（深さ14km、M5.5）

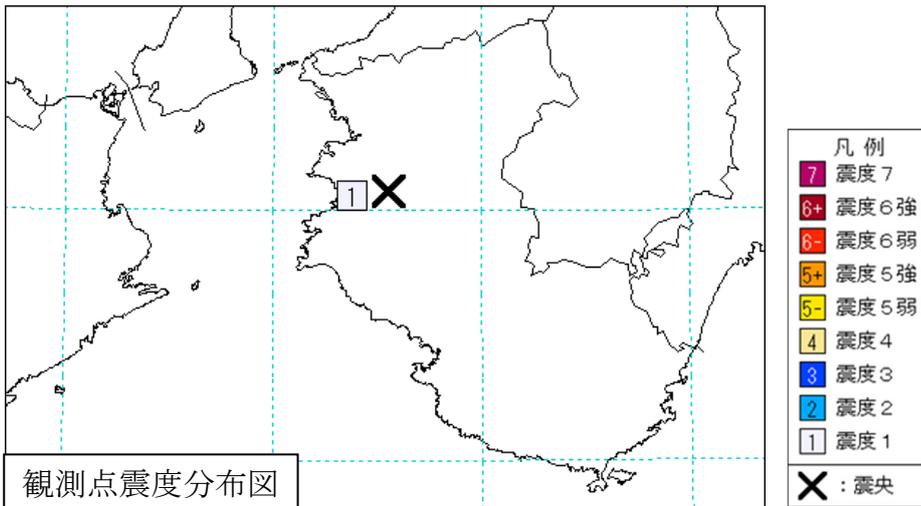
\*2026年01月06日10時39分 島根県東部（深さ9km、M3.2）

\*2026年01月06日10時40分 島根県東部（深さ15km、M3.1）

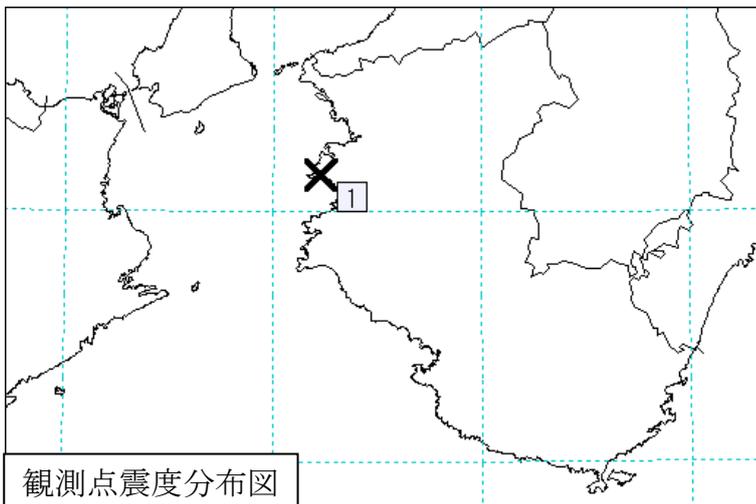
\*2026年01月06日10時40分 島根県東部（深さ13km、M3.1）



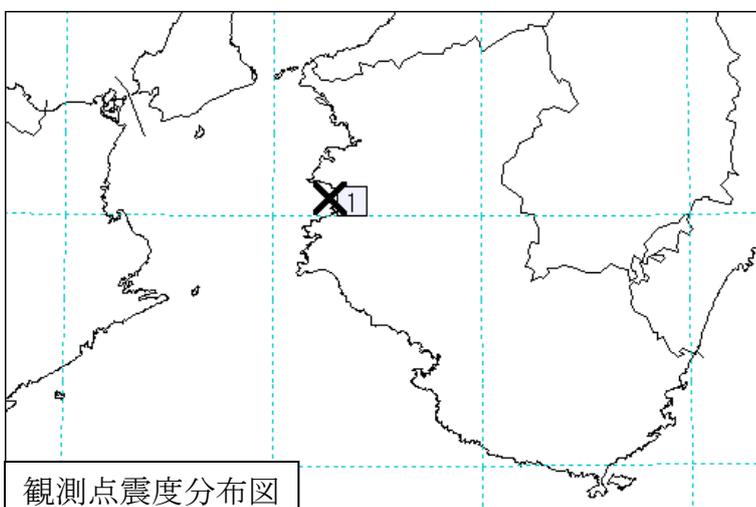
2026年01月06日19時47分 和歌山県北部（深さ4km、M1.9）



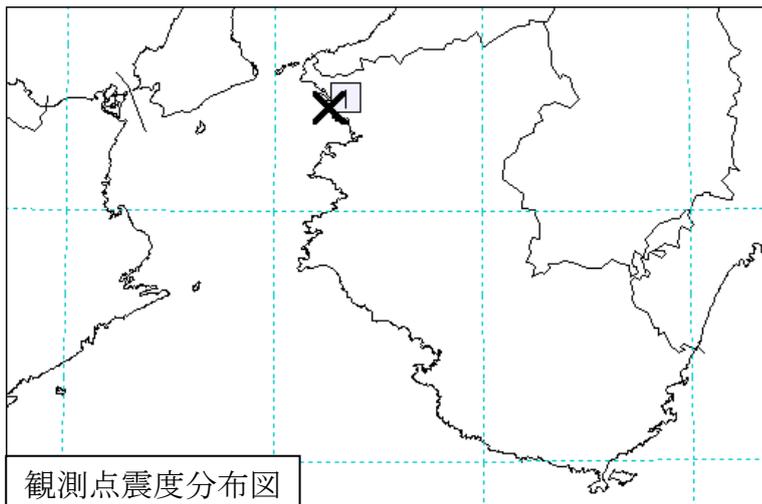
2026年01月11日18時37分 和歌山県北部（深さ9km、M2.3）



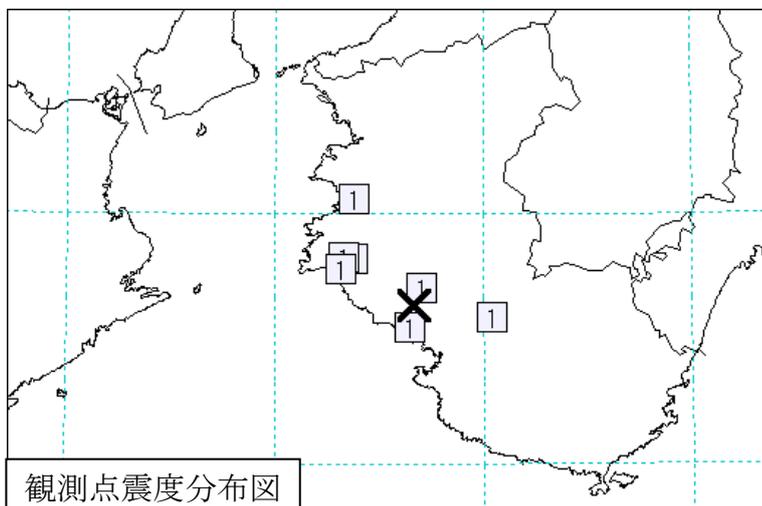
2026年01月13日20時41分 紀伊水道（深さ3km、M2.2）



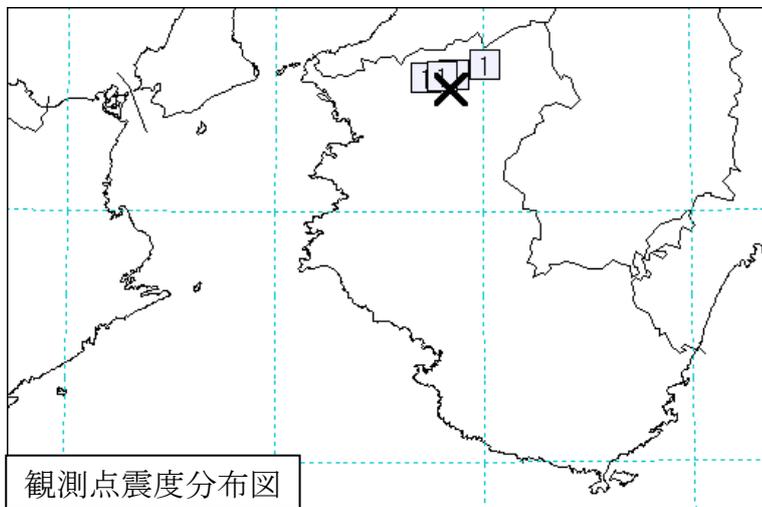
2026年01月15日00時43分 紀伊水道（深さ7km、M2.2）



2026年01月19日16時27分 和歌山県北部（深さ47km、M3.2）



2026年01月29日22時03分 和歌山県北部（深さ6km、M2.7）



発震時の最初に\*のついている地震は、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示します。

## 2. 地震一口メモ

### 長期評価による地震発生確率値の更新について

地震調査研究推進本部地震調査委員会は、前回（2025年1月1日）から1年経過したことから、令和8年（2026年）1月1日を基準日として算定した地震の発生確率値を公表しました。

本紙では、これらの公表資料から、南海トラフの地震（表1）および和歌山県に大きな影響があると考えられる活断層で発生する地震（表2）を抜粋し掲載します。前年の評価との変更箇所については、南海トラフの「すべり量依存 BPT モデル」において、平均発生間隔と経過率、「BPT モデル（ケースⅢ）」において10年および20年の発生確率と経過率が変更されています。

その他活断層の評価資料や評価手法等のより詳細な事項は、地震調査研究推進本部のホームページ（<https://www.jishin.go.jp/>）でご覧になれます。

これらの資料は、地震の危険性を再認識し防災意識を高めるとともに、今後の効果的な地震防災や対策を検討する上での基礎資料として活用ください。

また、日本ではどの場所でも、地震による強い揺れに襲われることがありますので、日頃からの地震に対する備えも重要です。

表1 南海トラフの地震

長期評価で予想した地震規模 (M8~9)	海溝型地震の相対的評価		地震発生確率			地震後経過率
	ランク	色	10年以内	30年以内	50年以内	
すべり量依存 BPT モデル	Ⅲ*ランク		ほぼ 0%~40%	60%~90%程度以上	90%程度もしくはそれ以上	0.83
BPT モデル (ケースⅢ)	Ⅲランク		0.2%~10%	20%~50%	60%~90%	0.68

海溝型地震における相対的評価の凡例

色	ランク	解説
	Ⅲランク(高い)	30年以内の地震発生確率が26%以上
	Ⅱランク(やや高い)	30年以内の地震発生確率が3~26%未満
	Iランク	30年以内の地震発生確率が3%未満
	Xランク	地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)

地震後経過率が0.7以上である海溝型地震については、ランクに\*を付記する

表2 和歌山県に大きな影響があることが考えられる活断層で発生する地震

断層帯名 (起震断層/活動区間)	長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)	活断層における相対的評価		地震発生確率 30年以内	地震後経過率
		ランク	色		
中央構造線断層帯 (金剛山地東縁区間)	6.8 程度	Zランク		ほぼ 0%	0.2-0.3
中央構造線断層帯 (五条谷区間)	7.3 程度	Xランク		不明	不明
中央構造線断層帯 (根来区間)	7.2 程度	Aランク		0.008%~0.3%	0.4-0.6
中央構造線断層帯 (紀淡海峡-鳴門海峡区間)	7.5 程度	A*ランク		0.005%~1%	0.4-0.8

活断層で発生する地震における相対的評価の凡例

色	ランク	解説
	Sランク(高い)	30年以内の地震発生確率が3%以上
	Aランク(やや高い)	30年以内の地震発生確率が0.1~3%未満
	Zランク	30年以内の地震発生確率が0.1%未満
	Xランク	地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)

地震後経過率が0.7以上である活断層については、ランクに\*を付記する